

体育・スポーツ・健康科学【特別講演】

日本のスポーツ政策の未来を考える

2025年2月5日(水)

要事前申込〆切
2025年
1月29日(水) 17:00

主催：日本体育・スポーツ・健康学会（JSPEHSS）
共催：日本スポーツ体育健康科学学術連合（JAASPEHS）
後援：スポーツ庁、日本学術会議、独立行政法人日本スポーツ振興センター、公益財団法人日本スポーツ協会、公益財団法人日本オリンピック委員会、公益財団法人日本パラスポーツ協会、公益財団法人スペシャルオリンピックス日本、特定非営利活動法人日本オリンピック・アカデミー

開催日時：2025年2月5日(水) 16:00～18:00

開催形式：ハイブリッド（対面形式及びオンライン形式）

対面会場：JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 岸清一メモリアルルーム（定員150名）
（〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町4番2号）

参加費：無料

プログラム

- 16:00～ 開会の挨拶
- 16:10～ 特別講演(40分)
講師：遠藤利明((公財)日本スポーツ協会会長)
- 16:50～ 質疑応答(20分)
- 17:10～ フリーディスカッション
- 17:50～ 閉会の挨拶

お申込みはこちら

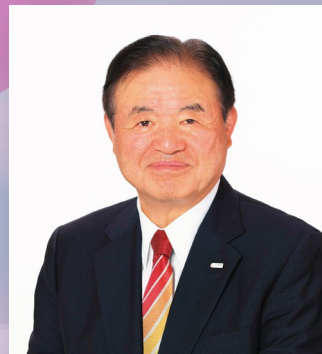


日本のスポーツ政策の未来を考える

【趣旨】

スポーツ基本法が2011（平成23）年8月に施行されてから、15年が近づいている。この間に、2015年ユネスコ体育・身体活動・スポーツに関する国際憲章が全面改定され、この分野がめざすべき国際的なレベルでの基準が示された。また国内では、半世紀ぶりに東京でオリンピック・パラリンピック大会が開催され、そのレガシーが次世代の体育・スポーツ・健康分野に活かされることが望まれる。この時勢の中で、日本のスポーツ政策には何が期待されるだろうか。またその政策にとって、スポーツ基本法はどのように更新される必要があるだろうか。

本特別講演会は、講師に遠藤利明氏をお招きし、会員が上記の問いについて考える機会として設定した。周知のとおり、遠藤氏はスポーツ振興法を改正からスポーツ基本法の成立に至る経緯を熟知され、現在も（公財）日本スポーツ協会会長、（公財）日本オリンピック委員会理事等、スポーツ組織の要職を務められている。



遠藤利明氏
（日本スポーツ協会会長）

プログラム

- 16:00～ 開会の挨拶
- 16:10～ 特別講演(40分)
講師:遠藤利明((公財)日本スポーツ協会会長)
- 16:50～ 質疑応答(20分)
- 17:10～ フリーディスカッション
- 17:50～ 閉会の挨拶